

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

スタンレー電気株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市志和町奥屋1866

(3) 業種

3000 電気機械器具製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成\_\_25年度を基準年度とし、平成\_\_29年度から平成\_\_31年度までの\_\_3年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー 起源CO2				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
非エネルギー 起源CO2				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
メタン				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
一酸化二窒素				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
その他 温室効果ガス				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス 実排出量総計				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス みなし排出量														
実績に対する 自己評価														

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：**付加価値生産額(百万円)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成	25年度	平成	28年度	平成	26年度	平成	27年度	平成	28年度	平成	29年度	平成	30年度
エネルギー 起源CO2				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
非エネルギー 起源CO2				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
メタン				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
一酸化二窒素				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
その他 温室効果ガス				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス 排出量総計				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)		0.2005		0.1945		0.2071		0.1821		0.1650		0.147		0.1716
				-3.0		-3.3		9.2		17.7		26.7		14.4
実績に対する 自己評価	事業所区分見直しにより、原単位良化 (基準24年度比)。25年度から26年度にかけては、CO2排出量は減るものの、付加価値生産額の低下が大きく、消費原単位は悪化。27年～29年度は売上増により原単位良化、平成30年度は生産量の減少により付加価値生産額が悪化。													

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の使用量を30%削減	LED照明導入：従来照明40KW→LED 0・7KWに置き換え実施、年間電力99KW削減（従来照明：186KW→LED：87KW）H30年度も継続実施
2	エネルギー使用の合理化	電気の使用量を20,000kw削減/	・太陽光発電新設（280kw）2018年1月稼働
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。